

平成26（2014）年9月11日

各位

CKD株式会社

小牧工場敷地内における土壌および地下水汚染について

CKD株式会社（愛知県小牧市応時二丁目250番地）は、小牧工場の自動機械組立棟の建替え工事に伴い、県民の生活環境の保全等に関する条例第39条第1項に基づき、土壌および地下水の調査を土地改変予定区域について実施しました。その結果、一部区画の土壌および地下水から環境基準値を上回る汚染物質が検出されたため、平成26年9月11日に愛知県へ報告いたしました。

土壌汚染については舗装等の表層養生にて飛散および雨水浸透防止措置を行い、地下水汚染については汚染区画を囲む位置に設置した敷地内観測井戸の分析を行いました。現時点では、土壌汚染については敷地外への拡散のおそれはなく、地下水についても分析結果が全て環境基準値以下であることから敷地外へ拡散のおそれはないため、周辺地域の皆様の健康への影響はないものと考えております。

弊社として今回の土壌および地下水の汚染について真摯に受けとめ、今後は将来に渡り周辺地域への環境影響を生じさせず、周辺住民の皆様にご安心いただけるよう、愛知県の指導を受けながら、誠意を持って浄化対策を早急に変更する所存です。

1. 調査の結果

1) 土壌

平成26年5月から6月までに土壌を採取して調査した結果、トリクロロエチレン、水銀及びその化合物が次表のとおり条例に規定する土壌溶出量基準を超過しました。

特定有害物質名	測定結果 最大値	土壌溶出量 基準	最大値 検出深度	基準超過土壌 検出深度	超過区画数 ／調査区画数
トリクロロエチレン	0.15mg/L (5.0倍)※注1	0.03mg/L 以下	5.0m	5.0m	1／72
水銀※注2及び その化合物	0.0025mg/L (5.0倍)※注1	0.0005mg/L 以下	0～0.5m	0～0.5m	2／72

※注1：（ ）内は土壌溶出量基準に対する倍率を示す。※注2：無機水銀

2) 地下水

上記1) で土壌溶出量を超過した地点で、平成26年6月に地下水を採取して調査した結果、トリクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレンが次表のとおり条例に規定する地下水基準を超過しました。

特定有害物質名	測定結果 最大値	地下水基準	超過区画数 ／調査区画数
トリクロロエチレン	2.6mg/L (87 倍) ※注	0.03mg/L 以下	1／1
シス-1,2-ジクロ ロエチレン	0.16mg/L (4.0 倍) ※注	0.04mg/L 以下	1／1

※注：（ ）内は地下水基準に対する倍率を示す。

2. 浄化対策

1) 応急対策

土壌について、汚染が判明した区画は現状建屋床下あるいはアスファルト舗装部のため、飛散および雨水浸透の懸念はありません。アスファルト舗装部について、一部植栽帯があるため、シートを覆い飛散及び雨水浸透の防止策を実施しました。

地下水について、汚染が判明した区画の周辺8箇所に観測井戸を設置し、汚染状況を確認するための追加調査を実施しました。その結果、8箇所すべての井戸で有害物質は検出されませんでした。

2) 恒久対策

土壌について、汚染土壌は全て掘削して除去し適切に処理いたします。地下水について、揚水井戸を設置し、汲み上げた地下水を浄化装置で浄化等の適切な処置を行います。また、観測井戸のモニタリングを継続し濃度変化を監視してまいります。

3. 使用状況と推定原因

水銀は、蛍光灯製造ラインの製作に伴う蛍光灯試作時の水銀封入作業および装置のオーバーホール等の整備に伴う洗浄の過程で水銀含有廃液が発生いたします。現在は蛍光灯試作時には構成部材に固着化され飛散するおそれのない水銀を使用し、洗浄時に排出される水銀は水銀含有廃液として専用容器に保管し、廃棄物として適切に処理しております。汚染が確認された原因としては、過去に水銀を運搬する過程で若干漏洩し、細かい粒子を回収しきれなかったことと推定されます。

トリクロロエチレンは、金属部品の洗浄に使用していましたが、平成 4 (1992) 年に使用を中止しております。汚染が確認された原因としては、作業中に床面にこぼれたものが、床の割れ目等から浸透したものと推定されます。シスー 1, 2-ジクロロエチレンは使用の実績がないため、トリクロロエチレンが土壌中で分解され形成された物質です。

4. 調査の経緯

1) 小牧工場 自動機械組立棟の建替え工事に伴う調査

〈土壌および地下水調査〉

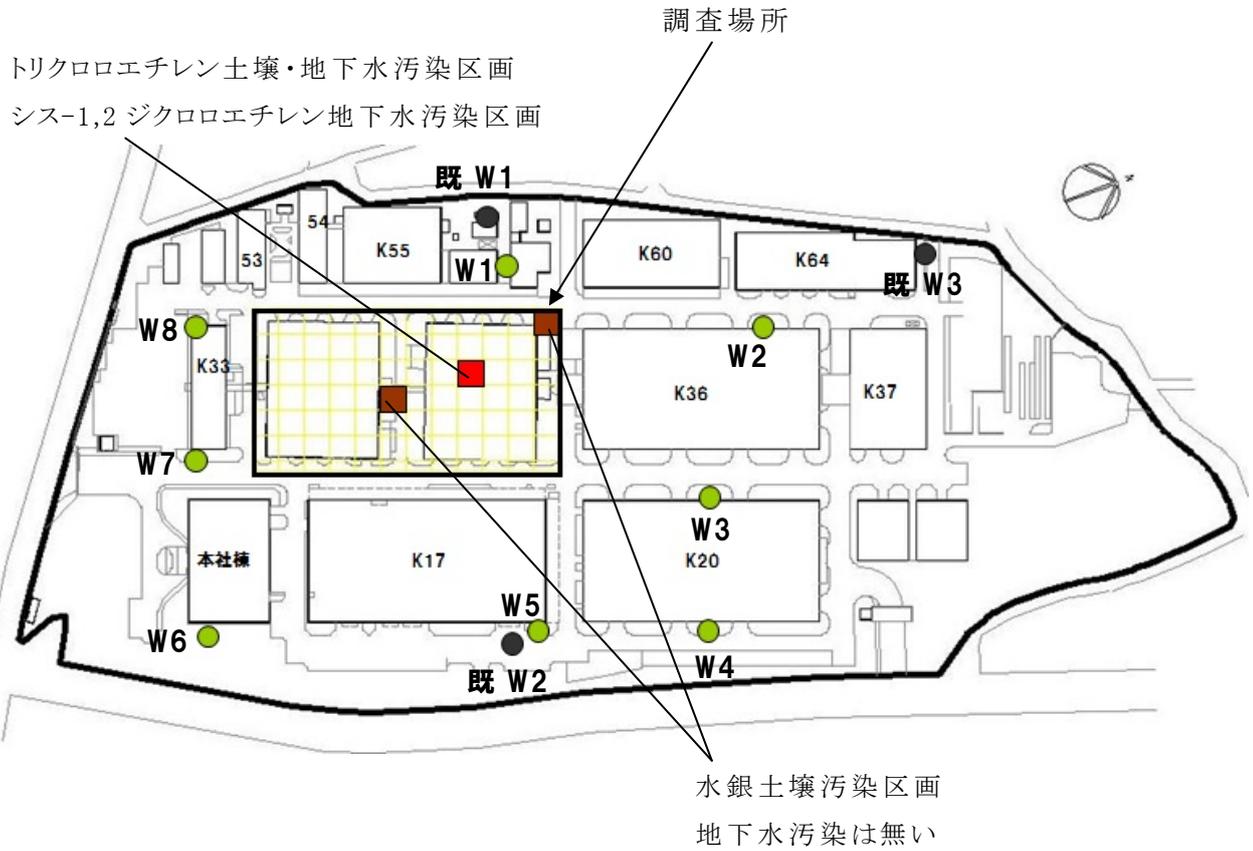
- ・ 地歴調査 3/14～5/2
- ・ 試料採取 5/10～6/8
- ・ 分析・報告 5/12～6/27

2) 1) の汚染状況を確認するための追加調査

〈地下水周辺観測調査〉

- ・ 観測井戸設置 6/30～7/5
- ・ 試料採取 7/25
- ・ 分析・報告 7/28～9/10

5. 調査場所および井戸配置図



※ W1～W8 は新たに設けた観測井戸：地下水汚染検出無し

※ 既 W1～既 W3 は既存井戸：地下水汚染検出無し

6. 本件に関する問い合わせ先

C K D 株式会社 総務部管財担当 Tel 0568-74-1113

以上